



令和6年1月25日(木)発行

校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

- 相手の立場に立って考える思いやりのある子ども
- すすんで学び、自ら考え、表現する子ども
- 元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

- 安全な学校 ○温かい学校
- 笑顔があふれる学校
- 「中島小大好き」と言える学校
- 成長(学習)し続ける学校
- 保護者・地域・関係機関と連携する学校

「まずはキャッチボールしようぜ！」

「野球しようぜ！」——このメッセージとともに、メジャーリーグで活躍中の大谷翔平選手から、約2万校ある日本国内の国公私立の全小学校及び特別支援学校小学部に、ジュニア用グローブ3個ずつ、全部で約6万個のグローブが寄贈されました。グローブは、右利き用2個に左利き用1個と、左利きの子どもたちのことも配慮されています。ようやく北九州市にも届き、中島小学校でも1月12日(金)に、グローブを子どもたちに披露しました。早速6年生から順番に使っています。

野球は9人でするものなのに、プレゼントされたのは3個のグローブ・・・そこには大谷選手の壮大な夢がありました。「グローブが2個あれば野球はできる。学校に贈れば、このグローブを使って子どもたちが順番にキャッチボールをする機会が生まれるかもしれない。グローブとボールに触れることで、観る競技からやる競技へ、少しでも子どもたちの野球観を変えていきたい。」大谷選手は子どもたちがキャッチボールを楽しんでいる姿を思い描いているのでしょう。

大谷選手から子どもたちへのメッセージ——「このグローブを使っていた子どもたちと、将来一緒に野球ができることを楽しみにしています！」
「まずはキャッチボールしようぜ！」

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。
貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ！

大谷翔平

グローブと一緒に送られてきた手紙です。

まちたんけんに行ってきました！（1年生）

1月17日(水)の4校時、1年生が生活科の単元「ふゆをたのしもう」の学習で、昭和町公園にいきました。冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切にしたりして、自分の生活を楽しくしようとするのが目的です。1年生の生活科では、「はるをさがそう」「なつがやってきた」「たのしいあき いっぱい」「ふゆをたのしもう」と、春・夏・秋・冬と継続して公園に行くことで、季節によって、公園にも様々な変化があることを学習してきました。また、自然の物だけでなく、公園には利用者が気持ちよく利用するために支えている人々がいることにも目を向けることで、2年生の「町探検」の活動につながっていきたいと思います。

『北九州マラソン』応援メッセージを作成！

2月18日(日)、『北九州マラソン2024』が開催されます。『北九州マラソン』は、今年で11回目を数える北九州市の一大イベントです。約12000人のランナーが、早春の北九州路を駆け抜けます。「走る人、支える人、応援する人 みんなが主役。」「『北九州マラソン』でまちを一つに。」を合言葉に、取り組まれています。中島小学校でも、昨年度より、参加者への応援メッセージを作成する取組に参加することで、「応援する人」として北九州マラソンに参加しています。全学年、1月15日までに作成し、既にお送りしています。ランナーの皆さんの励ましや支えになればうれしいです。

北九州市立ひまわり中学校 校章決定！

令和6年4月、公立の夜間中学校「北九州市立ひまわり中学校」が開校します。場所は、菊陵中学校の3階です。ひまわり中学校は、様々な理由により義務教育を修了していない人や、不登校などにより学び直しを希望する人、日本や母国で十分な義務教育を受けられなかった外国籍の人などが通う公立夜間中学校です。このたび、ひまわり中学校の「校章」が、下のデザインに決まりました。市内の中学校1年生の生徒が考えたデザインをもとにつくられています。

【製作者の思い・工夫など】北九州市のシンボルであるひまわりを、リボンでやさしく包みこむことで、「あたたかさ」、「いろいろな人が学んでほしい」という思いを込めました。リボンがつながっているのは、皆につながりをもってほしいからです。夜間の中学校でも、昼間のように明るく楽しい学校になってほしいという願いをデザインにしました。